

格安ダイヤルアップでブロードバンドを待て!

インターネット的

「マイライン」

得活用術

菅野 哲

illustration : Nankin



ようやく身近になった常時接続。とはいえADSLやCATVサービス地域外に住むためにダイヤルアップ以外の手段がないという人が多いのも事実だ。そんなダイヤルアップユーザーにおすすめなのが、今話題の「マイライン」だ。一番お得な電話会社を自由に選べば、通話・通信料金をぐっと安くできる。ダイヤルアップユーザー向けに一番お得なマイライン活用法をここに紹介しよう。

「マイライン」
受け付け中

3月末までに申し込んで
5月1日のサービスインに間に合わせよう!

今までは電話番号のみをダイヤルすると、自動的にNTTにつながり、そのほかの新電電系の電話会社を使いたい場合は「00XX」のような識別番号に続けて電話番号をダイヤルする必要があった。

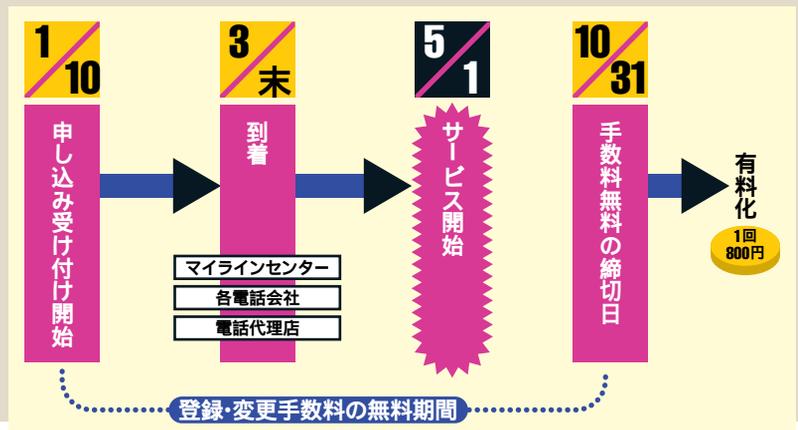
「マイライン」とは、市内・県内市外・県外・国際の4項目においてそれぞれ好きな電話会社を登録すれば、識別番号を入力せずに電話番号のみをダイヤルしても、選んだ電話会社につながるサービスだ。

現在マイラインセンターや各電話会社、電話代理店が申し込みを受け付けており、申込書に記入のうえ返送して3月末に到着したぶんまでは、サービス開始の5月1日からすぐに利用できる。サービス開始後、10月31日までの申し込みや登録変更なら手数料はタダだが、それ以降になると登録や変更1回につき800円がかかってしまう。このため、サービスインに合わせて登録し、すぐに試すが、賢い使い方だ。

区分



サービス開始と手数料の無料期間



面倒な手順もこれで一発

マイライン申し込みの手ほどき

**★ 簡単な登録で
電話料金が安くなる!**

一般に「マイライン」と呼ばれているが、そのサービスには「マイライン」と「マイラインプラス」の2種類があり、利用者はどちらかを選択することになる。

それぞれの詳細は右の表を見てもらうとして、特徴をひとことで述べると「マイライン」は登録した電話会社だけでなく、その他の電話会社もACRを使っているように今までと変わらない操作で使えるサービスで、一方の「マイラインプラス」は、ACRも使えず、ほかの電話会社を使うにも「122」を入れて使う事実上電話会社を固定してしまうサービスだと言える。

電話会社にとっては「マイラインプラス」での契約のほうがメリットがあるため、各種のキャンペーンや県内市外通話の月額定額料を省くなど、「マイライン」に比べて複数の特典が用意されている(239ページ参照)。

2種類のサービスどちらを選ぶ?

マイラインの概要

サービス	マイライン (電話会社選択サービス)	マイラインプラス (電話会社固定サービス)
電話会社の登録	選んだ電話会社を優先登録	選んだ電話会社を固定登録
通常時の電話のかけ方	識別番号なしで登録した電話会社に接続	識別番号なしで登録した電話会社に接続
登録外の電話会社を利用する場合	各電話会社の識別番号をダイヤル	サービス解除番号「122」に続けて各電話会社の識別番号をダイヤル
ACR(LCR)機能付き電話機などを利用する場合	ACRの設定が有効(マイラインを有効に使うには、ACRの機能解除が必要)	ACRの設定は無効。常に固定登録された電話会社に接続
こんな人におすすめ	いろいろな電話会社を利用する可能性がある インターネットはテレホーダイを利用。通話はほかの電話会社を利用したい	使う電話会社を区分ごとに自分で決めた1社に絞りたい 県内市外通話割引サービスの月額定額料を無料にするなどの特典を受けたい 現在ACR機能付きの電話機などを使っていて、その解除が面倒

申込書の記入例

登録する自分の電話番号を記入する。ISDNなどで複数のi・ナンバーや追加番号を持っている場合でも、ここには契約番号のみを書く。

申込者の名前を記入し、必ず捺印する。登録する電話回線の契約者と申込者が異なる場合は、契約者名も別に記入する。

市内・県内市外・県外・国際の4項目それぞれで利用したい電話会社の名称や識別番号を記入する。すべての項目を同じ電話会社にする必要はない。「マイラインプラス」で登録したい場合は、「希望する」に を付ける。

申込書の入手方法

申し込みは書類への署名と捺印による意思の確認が必要のため、各電話会社から申込書を取り寄せて、記入のうえ返送する。

それぞれの電話会社のホームページから申込書を手配するか、フリーダイヤルで申込書の郵送を頼むこともできる。

なお、たとえば「市内はA社、県外はB社」などとしたいときも、1通の申込書にその旨を記入するだけでOKだ。なお、写真の用紙はマイラインセンターから取り寄せたものだ。

📞 **マイラインセンター:**
問い合わせ ☎ 0120-000-747 (9:00 ~ 17:00)
FAX情報 ☎ 0120-000-698
📄 **KJump** www.tca.or.jp/myline/

市内のアクセスポイントを使っている人必見! 市内通話はNTTがダンゼン有利だ!

プロバイダーへのダイヤルアップ接続をはじめとして、もっとも利用頻度が高い市内通話の利用料金を比較してみた。市内通話では各社から多くのサービスが展開されているが、結果はNTTが有利なようだ。

NTTの市内通話

⇒ 「基本3分**8.8円**」(5月1日より)

家から電話局までの電話回線はNTTが所有しているため、一度必ずNTT網を経由してから各電話会社の回線につながる。このため、市内通話ではサービスの豊富さや料金ともに、電話回線を所有するNTTの1人勝ちに近い状況だ。CATVなどの常時接続を使っている人やインターネットへのダイヤルアップ接続をしない人以外は、市内通話は迷わずNTTを選択すればいいだろう。

市内通話・接続関連のサービスプラン

通話料は深夜(23:00~8:00)のみ 4分8.8円(5月1日より)	i・アイプラン3000*
タイムプラス	テレホーダイ1800
INSタイムプラス*	INSテレホーダイ市内プラン*
ケンタくん	OCNダイヤルアクセス
i・アイプラン1200*	「コミ・デ・プラン」

*はISDNの場合

基本が安い東京電話・九州電話

⇒ 基本3分**8.7円** 東京電話 / **8.6円** 九州電話：5月1日より

市内通話で善戦しているのが東京電話と九州電話だ。深夜以外の時間帯ではNTTより低料金なので、CATVなどを利用して電話回線でダイヤルアップ接続をする必要がなく、さらにNTTの割引サービスが適用されるほどに市内通話をあまり使わない人には魅力的だ。また、東京電話インターネットとセットで加入すると、東京電話インターネットの使い放題プランが月額1,750円から1,200円になるなどのメリットもある。提供地域は限られるが、こちらも注目だ。

市内通話・接続関連のサービスプラン

通話料は深夜(23:00~8:00)のみ 3分45秒で8.7円(東京電話)/8.6円(九州電話)
東京電話インターネット 「使い放題プラン」
東京電話インターネット 「ライトプラン」
東京電話インターネット 「まとめてバック」

市内参入のKDDIと日本テレコム

⇒ 「基本3分**8.8円**」(5月1日より)

深夜以外の料金こそNTTと同額だが、東京電話より高いので積極的に選択する理由はありません。ODN(日本テレコム)やDION(KDDI)を利用しているならば、お得な通信接続料込みのプランを検討する価値はある。

市内通話・接続関連のサービスプラン

ODN「まるごとプラン」
ODN「まるごと0」
DION「コミコミコース」
DION「マイティコース」

市内通話ならCATVにも注目!

マイラインには登録できないが、CATVを利用した安価な市内通話サービスもある。

J-COMフォンでは4月1日から市内通話が3分間で7.9円と、マイライン参入各社より低い料金になる。J-COMフォンはケーブルモデムを利用した電話サービスで、電話機は今まで使っていたものをそのまま利用できるため、各電話会社と操作は変わらない。しかも、月額回線使用料が1,330円と、NTTのアナログ回線の1,750円に比べて格安だ。サービスエリアは東京・神奈川・千葉・埼玉の一部のみだが、非常に魅力的な料金なので、J-COMを利用している人などは、この際、市内通話の利用も検討してみよう。

 www.jcom.co.jp

★ 時間帯別料金をチェック!

各電話会社の市内通話料金を時間帯別にまとめたのが右の表だ。

この表では東京電話と九州電話が有利に見えるが、NTTはタイムプラスなどのサービスが充実しているため、そうした割引サービスを併用することも考慮して検討すると、「市内通話ではNTT有利」は動かない。

なお、日本テレコムとKDDIは、5月の市内通話開始の時点ではタイムプラスのようなサービスを導入する予定はないようだ。

★ 利用時間と料金の関係をチェック!

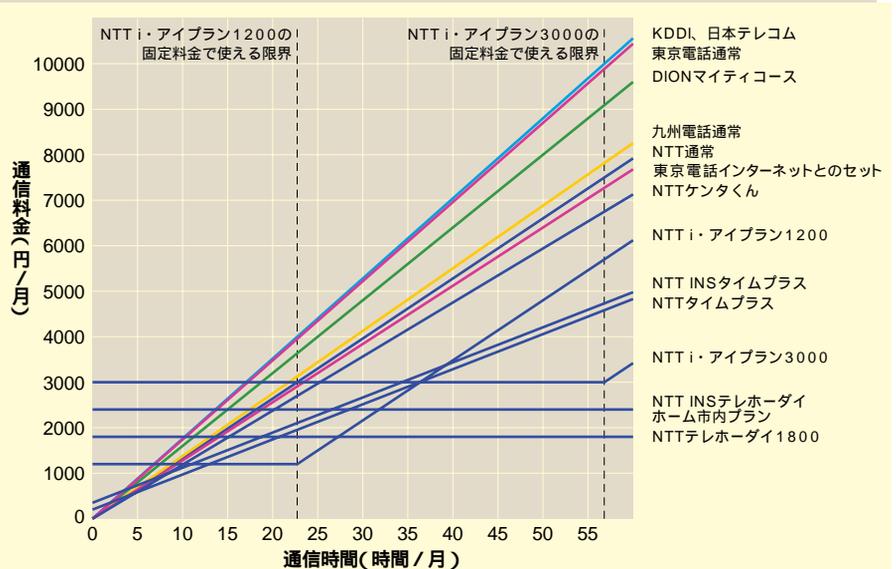
参考までに1か月あたりの通話（通信）時間と料金の関係をグラフにした。たとえば、メールチェック程度で1日の接続時間が約7分以内ならばNTTの通常契約、1日の平均がホームページを軽く巡回する程度の26分を超えるあたり（1か月の合計で約23時間）からNTTのi・アイプラン1200が有利になる。また、平均して1日に1時間以上接続する場合はテレホーダイがお得だ。

なお、このグラフは深夜の時間帯での試算だ。金額は通話（通信）料金のみでプロバイダー接続料は含まれていない。

市内通話料金表（5月1日より）

	平日昼間 8:00 ~ 19:00	土日祝 8:00 ~ 19:00	夜間 19:00 ~ 23:00	深夜 23:00 ~ 8:00
NTT東日本	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/4分
NTT西日本	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/4分
東京電話	8.7円/3分	8.7円/3分	8.7円/3分	8.7円/3分45秒
九州電話	8.6円/3分	8.6円/3分	8.6円/3分	8.6円/3分45秒
日本テレコム	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分
KDDI	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分	8.8円/3分

ダイヤルアップ接続時の通信料金の比較（深夜時間帯 23:00 ~ 8:00 の場合）



深夜以外のインターネットへの接続は行わないと仮定
すべて通信時間のみの試算。プロバイダー接続料金は一切加味されていない
ケンタくんは通話の多い上位3番号のうち、市内通話分は10%割引になる計算で算出

フレッツ・ISDN やテレホーダイなど 他の電話会社を登録しても使えるNTT サービス

NTT以外の電話会社を登録して、何らかの理由でインターネット接続にだけNTTを使いたい場合はどうしたらいいか？

「マイライン」で登録している場合は、ダイヤルアップ接続の番号に、NTT東日本ならば「0036」、NTT西日本ならば「0039」の識別番号を追加すればいい。

「マイラインプラス」の場合は、サービス解除番号「122」に続けて「0036」または「0039」をダイヤルする。

ダイヤルアップ接続の設定例
電話番号の前にNTT（この場合は東日本）の識別番号を入力しておけばいい。マイラインプラスの場合は、「0036」の前に「122」を追加する。



特番を使いこなせ

「マイラインプラス」の場合は、サービス解除番号「122」に続けて電話会社の識別番号をダイヤルすればいいので、たとえばNTT東日本を使いたいならば「122-0036-電話番号」とダイヤルする。

NTT 東日本：0036
NTT 西日本：0039

（例）NTT東日本でフレッツ・ISDNに接続する場合
NTT以外を「マイライン」で登録しているとき：

0036 + フレッツ・ISDN 接続番号

NTT以外を「マイラインプラス」で登録しているとき：

122 + 0036 + フレッツ・ISDN 接続番号

疑問解決

マイラインの?を調査する もっとお得なサービスを活用しよう

電話会社系列のプロバイダーでは、通信料と接続料をセットにしたサービスを用意し、マイラインに登録すればさらにお得になるものも登場してきた。ここでは、さらに賢くマイラインを使うポイントを紹介しよう。

通信料金が
セットになった

プロバイダー サービスは 使えるの?

電話会社系列のプロバイダーには、通信料と接続料をセットにしたり、インターネットに接続したときの通信料金を割安にしたりする魅力的なサービスが多い。

たとえば...

- DION コミコミコース
- ODN まるごとプラン
- OCN コミ・デ・プラン
- 東京電話インターネット まとめてパック

「マイライン」での登録を前提にしているのはODNの「まるごと0」¹だけだが、この機会に電話会社系列プロバイダーのお得なプランを総チェックしてみよう。



ダイヤルアップ接続の設定例

DIONの「コミコミコース」の設定例。インターネット接続料金と通信料金がセットになっているサービスで、接続時間に合わせて数種類の料金体系が用意されている。なお、DIONのほか、ODNやOCNなどが提供する通信料込みプラン用のダイヤルアップ接続の設定は、マイラインサービス開始後も一切変更する必要はない。

通話料込みのプロバイダー接続料金プラン

サービス名	接続料			通話料
	課金体系	基本料金	従量料金	
OCNダイヤルアクセス「コミ・デ・プラン」	一部従量 ^{*1}	400円、980円、2,350円	10円/分	接続料に含まれる
東京電話インターネット「まとめてパック」	一部従量 ^{*1}	350円、950円	9円/分	接続料に含まれる
東京電話インターネット「使い放題プラン」	定額	1,200円 ^{*2}	なし	8円/3分(深夜は8円/3分45秒)
東京電話インターネット「ライトプラン」	一部従量 ^{*1}	350円、600円 ^{*2}	5円/分	8円/3分(深夜は8円/3分45秒)
ODN「まるごとプラン」	一部従量 ^{*1}	400円、1,400円、2,350円、4,700円	10円/分	接続料に含まれる
ODN「まるごと0」 ^{*3}	完全従量	なし	10円/分	接続料に含まれる
DION「コミコミコース」	一部従量 ^{*1}	1,200円、2,350円、4,700円	10円/分	接続料に含まれる
DION「マイティコース」	定額	1,480円	なし	8円/3分

^{*1} 特定の時間までは定額、それ以降は従量料金

^{*2} 「東京電話」と「東京電話インターネット」の両方に加入することによる割引料金

^{*3} 「同一県内への市外」、「県外」、「国際」の3通話区分についてマイラインまたはマイラインプラスで日本テレコムを選択すると利用可能

マイラインに関する素朴な疑問

Q テレホーダイやi・アイプランなどとの併用はできる?

A できます。ただし、マイラインプラスの契約を考えている場合は、該当する区分(市内)はNTTで登録しておいたほうがいいでしょう。

Q マイラインに関する申し込みを一切行わなかった場合はどうなりますか?

A 「市内通話」と「同一県内の市外通話」はNTT東日本またはNTT西日本、「県外」はNTTコミュニケーションズに接続されます。「国際通話」は、通話ごとに電話会社の識別番号をダイヤルすることになります。

Q マイラインプラスで電話会社を登録するとそれ以外の電話会社はまったく使えないのですか?

A マイラインプラスのサービス解除番号「122」に続けて電話会社の識別番号をダイヤルすれば使えます。

Q 料金の請求はどうなりますか?

A 各電話会社ごとの請求になります。なかには、クレジットカードを利用できるところもあります。

各電話会社の
市外割引プラン

市内のアクセスポイントを使うよりも
実は安い？

たとえば...

KDDI だんぜんトーク DX

日本テレコム 局番割引SUPER

NTT エリアプラス

「市外局番の番号への通話が最大50%OFF!」のような売り文句を聞くと、「ひょっとして市内より安くなる場合もあるのでは?」と思ってしまう。

そこで、市外通話でもっとも安い「隣接・20km以内」の通話料金で検討してみた。結果は右表のとおりで、やはり市内通話より安くなることはありえないようだ。

市外通話の割引サービスは、あくまでも遠方への通話で発揮されると考えよう。

市内と市外の通話料金比較
(深夜時間帯 23:00 ~ 8:00)

市内		市外 (隣接・20kmまで)
8.8円/4分	NTT *1	8.8円/4分
8.7円/3分45秒	東京電話	12円/3分
8.6円/3分45秒	九州電話 *2	15円/3分
8.8円/3分	日本テレコム *3	11円/3分
8.8円/3分	KDDI *4	11円/3分

*1 「タイムプラス(市内外とも)」と「エリアプラス(市外のみ)」による割引料金適用(定額料200円 + 200円、ISDNは350円 + 350円)
 *2 「九州うれしい値プラン」による16%割引料金適用(定額料金100円)
 *3 「局番割引スーパー」による45%割引料金適用(定額料金200円)
 *4 「だんぜんトーク DX」による45%割引料金適用(定額料金200円:ISPがDIONならば定額料金無料)

キャンペーンや
ポイント制なら

電話もインターネットも使うほどお得？

マイラインの開始に合わせて、各社が登録キャンペーンを実施している。電話会社が固定される「マイラインプラス」での登録を前提としている場合が多いが、どうせ申し込むなら、そういった特典も有効にしよう。そのほか、電話会社の各代理店が独自に行っているキャンペーンもある。

ほかにも、使うほどにポイントがたまり、それを商品と交換できるものや割引サービスプランの定額料が無料になるサービスもある。そういった「特典」で電話会社を選ぶのもアリだろう。

マイラインプラス登録の特典情報

電話会社	特典の名称	特典を受ける条件		特典内容
		マイラインプラスへの登録	その他の条件	
NTT東日本	NTT東日本で当たりマウスフェア	市内通話および同一県内の市外通話の2区分	ケンタくん、タイムプラス、エリアプラスなど	呼び出しマウス、よく眠れマウスが当たる
NTT東日本 NTT西日本	スーパーケンタくん	市内通話および同一県内の市外通話の2区分		「スーパーケンタくん」の定額料が無料。通話料の割引が5%追加
NTT西日本	選んでおトク! キャンペーン	市内通話および同一県内の市外通話の2区分		オリジナル図書カード(2,000円券)
NTTコミュニケーションズ	選べるしあわせプレゼント	県外への通話および国際通話		デジカメ、神戸牛など
東京電話	シャベリッチ OCNシャベリッチ	県外への通話および国際通話		月額定額料無料
	区割プラス	国内3区分または国際を加えた4区分		市内通話以外の通話料金を5%割引
九州電話	グッドチョイスキャンペーン	国内3区分または国際を加えた4区分	通話料1月~4月分の請求金額合計が、3,000円以上	抽選で、カタログから好きなグッズをプレゼント
	マイラインプラス3区分セット割引	市内通話、同一県内の市外通話、県外通話の3区分		県内市外通話と県外通話を5%割引
KDDI	プラスにしてキャンペーン	4区分すべて	通話料1月~10月の請求金額合計が、500円以上	月ごとに食品など
日本テレコム	マイラインボーナスポイントラリー	登録区分数など、各種条件による(マイラインでも可)		「KDDIポイント大作戦」のポイント
	まる得割引ライト	同一県内の市外と県外含む3区分		月額定額料200円無料
	マイラインは日本テレコムでOK! キャンペーン	同一県内の市外通話、県外、国際の3区分(マイラインでも可)	円以上	請求金額が月額200ジ・クロック
日本テレコム	選んでラッキープレゼント	同一県内の市外通話、県外、国際の3区分(マイラインでも可)	00円以上	請求金額が月額3,000円以上のアイテムから選択
	局番割引SUPER	同一県内の市外通話、県外、国際の3区分		月額円無料

Q 引っ越しをしたとき、登録はどうなりますか？

A 引っ越ししても、そのまま登録内容が継続され、その際の料金は無料です。

Q ISDNを利用して、2つ以上の電話番号を持っている場合はどうなりますか？

A ISDNについては、契約者回線番号のみの申し込みになります。

インターネット的「マイライン」活用術

安さで選ぶか好みで選ぶか

区分選びのポイント

実際に申込書に記入するにあたって、どのような点に気を付けて電話会社を選定すればいいのだろうか？
料金だけでなく、電話のしやすさもポイントになってくるので、以下の表を参考にしてほしい。

★マイライン登録で電話がカンタンにかけられる

以前は電話をかけると自動的にNTTに接続されていた。それがマイラインの登場で、安い電話会社を自由に登録できるようになり、しかも電話番号だけで簡単に接続できる。また、国際電話は、マイラインに登録しないと、従来よりもダイヤルする桁数が多くなってしまい面倒だ。あらかじめ自分のスタイルに合った電話会社を選択して電話の操作を簡単にしよう。

登録できる電話会社一覧

電話会社	識別番号	市内	同一県内の市外	県外	国際	サービスエリア
NTT 東日本 www.ntt-east.co.jp	0036	◎	◎ ^{*1}			東日本（北海道、東北、関東地方および新潟県、山梨県、長野県）
NTT 西日本 www.ntt-west.co.jp	0039	◎	◎ ^{*1}			西日本（北陸、近畿、中国、四国、九州地方および岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）
東京電話 www.ttnet.co.jp	0081 0082(国際)	◎	◎	◎		関東（関東1都6県および山梨県、静岡県の富士川以東、離島を除く）
日本テレコム www.japan-telecom.co.jp	0088 0041(国際)		◎ (30km程度以遠)	◎ (30km程度以遠)	◎ ^{*2}	日本全国 「市内」は5月1日より開始予定
KDDI www.kddi.com	0077 001(国際)		◎ (30km程度以遠)	◎ (30km程度以遠)		日本全国 「市内」は5月1日より開始予定
九州電話 www.qtnet.co.jp	0086					九州（沖縄および離島を除く九州の各県）
ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC www.cwidc.com	0061				◎ ^{*3}	日本全国
NTT コミュニケーションズ www.ntt.com	0033					日本全国
フュージョン・コミュニケーションズ www.fusioncom.co.jp	0038		◎ (100km程度以内)	◎ (100km程度以内)		日本全国 4月1日にサービス開始予定
ワールドコム・ジャパン www.wcom.co.jp	0071					日本全国
グローバルワン www.globalone.co.jp	009123					日本全国 法人利用申し込みが対象
テレグローブ www.teleglobe.co.jp	0031					関東（関東1都6県および山梨県、静岡県の富士川以東、離島を除く） 4月以降にサービス開始予定
ドイツテレコム www.telekom.co.jp	0080				◎ ^{*4}	日本全国 通話契約が別途必要

対応を ◎ で表記。 - は未対応の区分。◎は特におすすめなサービス

*1 エリアプラスのサービスエリア

*2 スーパーファミリーラインで地域によらず安い

*3 ファミリープラスで地域によらず安い

*4 たとえば、アメリカ合衆国25円/分、イギリス39円/分、タイ99円/分、オーストラリア49円/分ととってもお得。24時間均一料金も特徴

市内通話

市内局番 + 加入者番号（下4桁）

同一県内の市外通話、県外への通話

市外局番 + 市内局番 + 加入者番号（下4桁）

国際電話

010 + 相手国番号 + 相手国内番号
(ex. アメリカ: 010 - 1 - xxx - xxx - xxx)

マイライン、マイラインプラスに登録していないと...
識別番号 + 010 + 相手国番号 + 相手国内番号

決定! もう迷わない!

編集部おすすめの組み合わせはこれだ!

ズバリ「タイプ別のおすすめ組み合わせプラン」を紹介しよう! なお、国際電話に関しては相手先の国によって条件が異なるので参考として見てほしいが、一般的にドイツテレコムがお得だ。

★ CATV インターネットや ADSL を利用している人向き

ダイヤルアップ接続が不要で、電話をあまり利用しないならば、タイムプラスのような基本料金が発生せず低価格な東京電話や九州電話をメインとした組み合わせがいい。

市内	県内市外	県外	国際
東京電話 九州電話	東京電話 九州電話 *1 KDDI *2 日本テレコム *2	東京電話 KDDI *2 日本テレコム *2 フュージョン・コミュニケーションズ *3	ドイツテレコム 日本テレコム ケーブルアンド・ワイヤレスIDC

*1 隣接・20km以内の地域との通話が多い

*2 30km以上との通話が多い

*3 100km以上との通話が多い

★ 料金の支払いを一本化したい人向き

アチコチに料金を支払うのが面倒な人は、市内と県内市外はNTT東日本またはNTT西日本、県外と国際はNTTコミュニケーションズにすれば利用料金を一括で支払って簡単だ。

市内	県内市外	県外	国際
NTT東日本 NTT西日本	NTT東日本 NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	NTTコミュニケーションズ

★ 100kmを超える遠距離(県外)との通話が多い人向き

全国一律3分20円というフュージョン・コミュニケーションズが見逃せないが、通話料金が3分刻みで課金されるので、たとえば4分の通話(40円)では不利になる。とはいえ、ある程度長い時間の通話が多いならば、かなりお得になるだろう。

市内	県内市外	県外	国際
NTT東日本 NTT西日本	東京電話 九州電話 *1 KDDI *2 日本テレコム *2	フュージョン・コミュニケーションズ	ドイツテレコム 日本テレコム ケーブルアンド・ワイヤレスIDC

*1 隣接・20km以内の地域との通話が多い

*2 30km以上との通話が多い

★ 電話会社系プロバイダーを利用している人向き

NTTの市内通話料金は捨てがたいので、やはり市内は「NTT」で登録しよう。通信料と接続料がセットになっているプランを利用しているならば東京電話や九州電話もよい選択だ。

市内	県内市外	県外	国際
NTT東日本 NTT西日本 東京電話 *1 九州電話	東京電話 *1 九州電話 *2 KDDI *3 日本テレコム *3	東京電話 *1 KDDI *3 日本テレコム *3 フュージョン・コミュニケーションズ *4	ドイツテレコム 日本テレコム ケーブルアンド・ワイヤレスIDC

*1 東京電話インターネットの「使い放題プラン」

は東京電話への加入で適用。ただし、必ずしもマイラインに登録する必要はない

*2 隣接・20km以内の地域との通話が多い

*3 30km以上との通話が多い

*4 100km以上との通話が多い

各項目ごとの選定ポイント

市内

市内通話はNTTで決まりだと言える。電話会社系のプロバイダーを利用している場合でも「マイライン」でNTTを登録するのがベストだ。ただし、CATVインターネット、ADSL、東京電話インターネットの利用者は東京電話や九州電話もお得だ。

同一県内の市外

隣接・20km以内への通話が多いならばNTTのエリアプラスか東京電話、九州電話で、エリアプラスの基本料金(200円が350円)に見合う通話時間があるかどうかで決めよう。30kmを超える通話が多いならばKDDIか日本テレコム、東京電話を選ぼう。

県外

100kmを超える通話が多いならば全国一律どこへでも3分20円というフュージョン・コミュニケーションズが見逃せない。100kmを超えない不特定多数の人にかかる場合は、複数の料金サービスを用意して、比較的安いKDDIか日本テレコムにしておくのがいいだろう。

国際

ドイツテレコムがおすすめだが、マイライン以外に別途ドイツテレコムを使うための会員登録をする必要がある(オンラインで可)。日本テレコムやケーブル・アンド・ワイヤレスIDCはマイライン以外の登録は必要なく比較的安いので、候補としては魅力的だ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp